

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		農業者の新規販路開拓件数の増加が図られる。							
指標	指標名	農業者の新規販路開拓件数の増加（累積）					指標の種類		
	指標式	10事業者/年×2件/年=20件/年					成果指標 業績指標		
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a			20	40	60			
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国	事業実施状況報告書							
把握する時期		当該年度中		月	翌年度	06月	翌々年度	月	

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度
	目標a								
	実績b	データ等の出典							
	東北 全国								
把握する時期		当該年度中		月	翌年度	月	翌々年度	月	

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性	
<p>現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性</p> <p>生産者のマーケットイン視点への意識改革やビジネス経験の蓄積を図るため、商談スキル習得を目的とした営業実践研修の開催や農業者自らが行う販路開拓活動を支援する必要がある。</p>	
<p>住民ニーズに照らした事業の必要性</p> <p>消費者への直接販売や実需者との契約取引を推進するため、農業者自らが行う販路開拓活動を直接支援する必要がある。</p>	
<p>事業の県関与の必要性</p> <p>法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの</p> <p>県ではアンテナショップなどの販売拠点を有するほか、東京事務所にて企業開拓員を配置するなど首都圏での販路開拓活動をサポートできる体制が整っていることから、県が積極的に関わることで事業効果が高まる。</p>	

		政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業	その他